

特 集

北海道スキー連盟創立80周年記念 祝 賀 会 開 催

広 報 部

平成24年12月9日（日）、午後2時から札幌パークホテル地下三階の大ホールにおいて、公益財団法人北海道スキー連盟創立80周年記念祝賀会が盛大に行われました。

祝賀会には、道連伊藤会長を始め上杉専務理事、SAJ吉田副会長、道連小林・吉田両副会長はじめ、全道各加盟団体、スキー場、スキー学校関係、競技・教育本部関係者など120名を越える出席者で会場は満員となりました。



道連を挙げての祝賀会



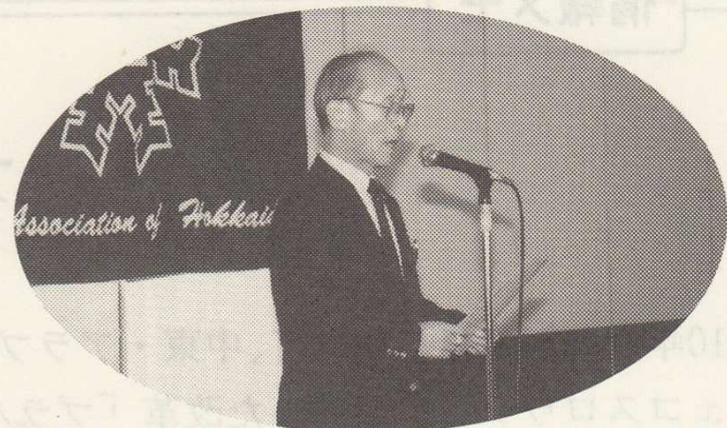
司会進行の岡島総務本部長

岡島謙俊総務本部長の司会進行で会はスタート。上杉専務理事から開会の言葉があり、先ず伊藤会長から「80周年という大きな節目と公益財団法人としてスタートとなる年に、このように沢山の関係者の方々にお集まり頂き感謝申し

上げます。昭和7年、初代会長の後藤耕造氏が就任して道スキー連盟がスタートしたわけですが・・・」とご挨拶があり、1年後のソチオリンピックで初参加となる女子ジャンプの活躍にも触れられ、選手強化とその支援を訴えました。

続いて吉田SAJ副会長から祝辞が述べられ、祝電披露の後、小林道連副会長の乾杯の音頭で、宴の筵（むしろ）は開かれました。

トップを切って紹介されたのは、道スキー連盟参与の毛利 修三氏（小樽）で、氏からは不況の続くスキー界に対しての心配と、スキー授業の復活で明るい兆しが少し見えてきたこと、道スキー連盟、各地区連等スキー界が一つになって支援しなければならないことなどを熱く訴えられました。



開会の言葉は上杉専務理事



伊藤会長挨拶